

SAPIO

Vol.8 No.9 5/22

1996年

発行
小学館「朝鮮半島・
有事を確かめに行く」

渾身ノンフィクション

● 第 7 回 ●

深田祐介(作家)VS李洙喆(駐日韓国企業
連合会会長 三星ジャパン社長)

「北朝鮮の製品は、中国製より不良品の混入率が低い」(李氏)



新たな日韓の交流は
「九州」から始まるべきだ

深田 ただ、最近の九州は、韓国、韓国で大変ですね。高速フエリーが、いま釜山―福岡間を2時間半くらいで行き来しますからね。

いまや朝鮮半島は、台湾海峡とならぶアジア安全保障の最大の焦点となった。とりわけ不可解な動きの目立つ北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)には、世界の目が集まっている。だが、この国に注目しているのは何も軍事・外交関係者ばかりではない。韓国の巨大財閥のひとつで、日本企業との提携にもっとも積極的な三星グループは、北朝鮮の現状と今後をどう読んでいるのか。駐日韓国企業連合会の会長も務める李洙喆・三星ジャパン社長に聞いた。

李 新しい高速艇ができると1時間半ですよ。深田 だから博多のあたりは、いまや韓国語だらけ。別府の旅館街でもハングル文字を見かけます。李 不景気で大阪からの観光客はガタ減りなのに、その分、韓国からの観光客が増えた。そして、福岡県などは知事がかなり努力して地下鉄などの看板も全部ハングルの併記している。それぐらい九州は努力している。だから来るんです。

深田 九州は、すごく真剣に韓国対策と台湾対策を考えているんですね。先日大分県の平松知事と食事をしたが、知事も韓国、台湾との交流にすごく熱心でした。昔から大分高商(現・大分大学経済学部)は韓国からの留学生が非常に多かったそうですよ。李 地理的に交流を図るとしたら、韓国から日本に留学したいという学生は、全部受け入れるべきだ。深田 そうですね。大した数じゃないですよ、全部受け入れて李 日本は物価も高いし、ここで生活するのは難しい。経済的に余裕がない人は日本に来ない

で、アメリカに行ってしまうんです。

深田 将来に向けて、留学生というのは非常に大事な問題です。留学したら、だいたいその国に親近感を持ちますから。

李 新たな日韓関係の交流は

やはり九州から始まるべきです。日本が九州から対馬までトンネルを掘り、対馬から釜山までは韓国の負担でトンネルを掘って海底トンネルで両国を結ぶというようなことを、本気で考えるべきです。

深田 英仏間のトンネルと同じですね。

李 両国間で終わるんじゃなく、将来的には中国や、シベリア鉄道でロシア、ヨーロッパまで行っちゃうんじゃないですか。豊富なシベリアの天然ガスなんか日本までパイプでつなぐことができるはずですよ。両国にとつてこんないいことは他にないと思う。

永遠に赤字になる青函トンネルを掘って苦しむんじゃない、そういうことを、なぜ考えないんでしょうか。

また、九州や釜山あたりを中心にした環黄海経済圏をフリーゾーン(無税)にしてしまおう。となると、たとえばウチが提携している日産の九州工場と、釜山に新しく建てるウチの工場の距離は200kmもない。そうすれば、両者の利益は計り知れない。

い。そういうふうにならないと、いくら政治家が日韓関係を改善しろといっても、できないですよ。

深田 たしかに、トンネルができれば一挙に関係は改善されるでしょうね。

李 そういうことに早く気づいたら、関西国際空港なんか作るべきじゃなかった。埋め立て地で滑走路が1本しかなくて、あれはアジアのハブ空港には絶対ならない。

たとえば日本の地方から海外に出るのに、成田まで足を運ぶのは大変です。いま日本中の地方空港から直接ソウルや釜山に行つて、飛行機を乗り換える。すると飛行機代も半分です。

深田 現在、日本国内から18路線が韓国へ飛んでいる。まあ、JALのOBとしては、必ずしも心平らかじゃありませんがね(笑)。

とにかく日韓のビジネスと観光、留学の交流は、これからますます盛んになるでしょう。どうやらそのあたりに、未来志向の日韓関係というものがありそうですね。

李 互いに協力し合えば、非常にいいアイデアが出てくるはずですよ。

深田 そうした協力が、朝鮮半島から、ひいてはアジア全体の平和につながるという認識を日本人は持つべきですね。